

しょう 翔

平成二十八年

65

【岸田文雄季刊誌】

Fumio Kishida DETAILED REPORT MAGAZINE

[自由民主党広島県第一選挙区支部]

Contents

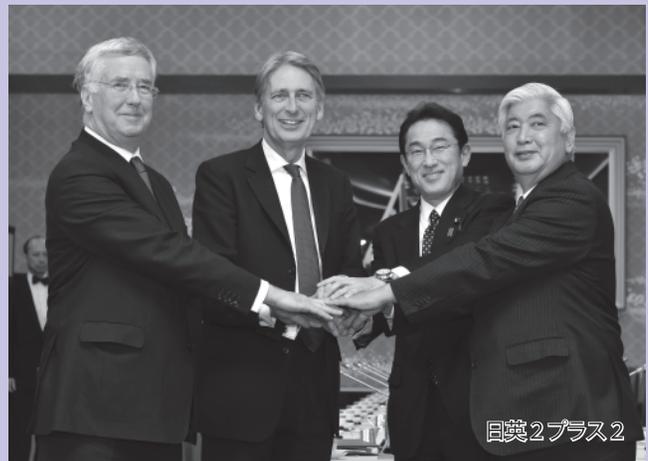


- 外相歴代第4位に
- 昨年12月～今年2月の活動①
- 昨年12月～今年2月の活動②

昨年12月～今年2月の活動①



日韓外相会合後の「日韓合意」を発表する歴史的な共同記者会見



日英2プラス2



ビル・ゲイツ「ビル&メリンダ・ゲイツ財団」
共同議長による表敬



中南米大使会議レセプション



日米宇宙協力及び国際宇宙ステーション計画に
係る文書の署名式



「国連安保理に関する戦略本部」第一回会合



G7外相会合のための平和公園視察



佐喜眞宜野湾市長による要請



戦後歴代外務大臣在任期間第4位に

1月31日、岸田文雄外務大臣の在任期間が1132日に達し、戦後歴代外務大臣在任期間として第4位になりました。平成の外務大臣としては最長となります。

特に2001年に廃止された、政府を代表して大臣の代わりに国会で答弁する政府委員制度時代に比べて、現在は国会では基本的には全て大臣が答弁することになっており、その拘束時間や身体的負担はかなり大きなものがあり、この記録は特筆すべきものがあると言えるでしょう。

岸田外相は新聞のインタビューに「長ければ良いのではない。中身が重要だ」と答えています。確かにその通りでしょうけど、やはり外交にとって最も大切となってくる人間関係の構築には、時間も重要な要素でありますので、長い時間を掛けられることができているのは、中身の充実と直結しているとも言えるでしょう。

日本の顔として岸田文雄外務大臣は今日も公務に精励しています。



会談最多の米国ケリー國務長官



吉田茂
1909日
総理大臣・外務大臣
農水大臣など



大平正芳
1472日
総理大臣・外務大臣
大蔵大臣・官房長官
宏池会会長など



安倍晋太郎
1334日
外務大臣・官房長官
通産大臣・自民党幹事長など

昨年12月～今年2月の活動②



日・インドネシア2+2



日・イラン投資協定署名式



阿川隆和子さんからインタビューを受ける



日本国際問題研究所との共催講演



HNS特別協定に関する署名式



衆議院予算委員会

岸田文雄後援会事務所

●国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1222号室
TEL (03) 3508-7279 (直通) FAX (03) 3591-3118

●広島事務所

〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3
和光八丁堀ビル9階
TEL (082) 228-2411 (代表) FAX (082) 223-7161

●岸田文雄ホームページ

<http://www.kishida.gr.jp/>



ケータイ用サイトQRコード

季刊「翔」六十五号 発行平成二十八年二月二十日
自由民主党広島県第一選挙区支部「翔」編集室
〒730-0013 広島市中区八丁堀六一三 和光八丁堀ビル九階